

## ■ 平成 23 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	1,288 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	15,063 点
	16,351 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲 覧	利用者 延 5,237 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (305 日間)	10,429	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 追悼・後藤竜二展	4/23(土) ～ 5/22(日) (26 日間)	1,789	一周忌を前に、著作や原稿・写真類を多数紹介し、児童文学ひとすじだった仕事を回顧するとともに、兄の高田三郎、妹の小泉るみ子による挿絵や絵本等兄妹 3 人の生まれ育った故郷・美唄の生活を彷彿とさせる作品を紹介。
	特別展 日が過ぎ去って 僕のみは ～福永武彦、魂の旅～	6/4(土) ～ 7/10(日) (32 日間)	2,080	「忘却の河」「死の島」などの代表作で戦後文学を代表する小説家・福永武彦の文学活動を回顧し、フランス文学をはじめ絵画や音楽にも関心を寄せた幅広い文化的背景を掘り下げ、その魂の旅ともいべき文学の世界を紹介。
	ファミリー文学館 絵本の原画を運ぼう！	7/23(土) ～ 8/28(日) (32 日間)	1,456	江戸時代に蝦夷～上方を往復し、さまざまな交流をもたらした商船、北前船の航路をたどり、「上方(京都)まで《俵もの》を運ぼう！」という全国巡回展。今回の《俵もの》は、絵本作家・あべ弘土作の「かちかち山」原画で、原画展を中心に、北前船についても紹介。
	特別展 赤色エレジーから 小梅の初恋 林 静一展	9/16(金) ～ 11/7(月) (46 日間)	4,361	一世を風靡し、歌謡曲も生まれた漫画「赤色エレジー」やロッセのキャラクター「小梅ちゃん」、夏目漱石の草枕に取材した漫画「夢枕」のほか、絵本、美人画、童画など、幅広い活動を総合的に紹介。
	特別展 李恢成の文学 — 根生いの地から 朝鮮半島・世界へ —	1/28(土) ～ 3/25(日) (50 日間)	1,652	在日二世作家として世界と日本の困難な現実から目を逸らさず、「またふたたびの道」「砧をうつ女」「百年の旅人たち」を経て、現在の自伝的大河小説「地上生活者」に到るまで、常に人間を問い続ける李恢成の文学の全体像を紹介。

#### 【常設展プレミアム】

「森田たまの交友録 — 書簡にみる文学者たちの筆跡 —」

11月19日(土)～1月15日(日) 45日間 観覧者数 1,081人

「もめん随筆」「石狩少女」などで知られる札幌出身の随筆・小説家、森田たまは、参議院議員、きもの愛好家としても活動し、文学界、美術界、政界などに幅広い交流があり、当館所蔵の森田たま資料の中から、書簡を中心に多彩な人々との交流を紹介。

#### 【文学館アーカイブ（新着資料）コーナー】

・第1期展示〔4月1日(金)～7月31日(日)〕

## 新収蔵 久保栄資料

平成 21 年度に寄贈を受けた久保栄宛長光太葉書や自著「小山内薫」草稿、演劇関係書籍などの久保栄関係資料を紹介。

- ・第 2 期展示〔8 月 2 日(火)～11 月 30 日(水)〕

### 佐藤忠良と北海道の本

現代日本を代表する彫刻家佐藤忠良は、北海道ゆかりの文学者の作品の挿絵を手がけ、挿絵作家としても優れた仕事を残しており、船山馨「石狩平野」の挿絵など当館所蔵の佐藤忠良関係資料を紹介。

- ・第 3 期展示〔12 月 1 日(木)～3 月 31 日(土)〕

### 虹と雪のバラード—河邨文一郎

札幌冬季オリンピックの歌「虹と雪のバラード」の作詞者として知られる詩人・河邨文一郎の関係資料を紹介。

## (2) 常設展の展示構成

### 〈北海道の文学、その歴史〉

◆20 世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全 5 幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

### 〈北海道の詩〉

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二月月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

### 〈北海道の短歌〉

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

### 〈北海道の俳句〉

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

### 〈アイヌの口承文芸〉

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

### 〈北海道の川柳〉

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成 7 年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

### 〈北海道の児童文学〉

◆明治～昭和 20 年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和 30 年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和 40 年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

### 〈千島・樺太の文学〉

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者実績数(人)	備考	
	講演会・セミナー・講話等	文芸トーク「兄妹が語る後藤竜二」 講師：高田三郎(画家)、小泉るみ子(絵本作家)	4/24(日)	93	「後藤竜二展」関連事業
	〃	文芸対談「児童文学に生きた後藤竜二」 講師：あさのあつこ(作家)、津久井恵(岩崎書店編集長)	5/7(土)	98	〃
	〃	文芸トーク「父・福永武彦のこと」 講師：池澤夏樹(作家)	6/4(土)	101	「福永武彦展」関連事業
	〃	文芸講演会「福永武彦「河」を読む」 講師：田口耕平(当財団評議員)	7/2(土)	66	〃
	〃	展示室トーク「北前船あれこれ物語」 講師：鏡 啓記(北前船研究家)	7/24(日)	28	「ファミリー文学館」関連事業
	〃	上映会とサイン会 講師：林 静一(イラストレーター)	9/24(土)	77	「林静一展」関連事業
	〃	上映会「画ニメ～赤色エレジーほか」 講師：当館学芸主幹	10/9(日)	42	〃
	〃	文芸講演会「森田たまと素木しづ」 講師：山崎真紀子(札幌大学教授)	12/4(日)	42	「常設展プレミアム」関連事業
	〃	文芸講演会「根生いの地から朝鮮半島・世界へ」 講師：李 恢成(作家)	1/28(土)	107	「李恢成展」関連事業
	〃	鼎談「李恢成文学における“記憶”をめぐって」出演：李恢成(作家)、藪 博(写真家)、永岡杜人(文芸評論家)	2/19(日)	94	〃
	〃	一人芝居「オンマの白いチョゴリ」 出演：金時江(ハンマダン主宰)	3/18(日)	60	〃
※	朗読会	「作家による朗読会」 朗読：池澤夏樹(作家)	6/10(金)	86	「福永武彦展」関連事業
	〃	「福永武彦作品を読む」 朗読：柳 寿之、田中隆子	6/26(日)	80	〃
※	連続朗読会	「海…風…を感じて」朗読：松井信子、田村英一、チェンパロ：明楽みゆき、ギター：廣田幸政	8/5(金)、8/6(土)、9/2(金)	156	
※	ウィークエンド・カレッジ	児童文学創作教室、イタリア文学等 6講座44講義	5～3月の金、土	359	
※	ロビーコンサート	アイルランド伝統楽器のアンサンブル (演奏：HARD TO FIND)	11/2(水)	34	
	文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/27(水)～29(金)	25	
	小・中学生短歌コンテスト	夏休み期間中、小・中学生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰	7/1(金)～9/18(日)	2,138	
	〃	夏休み小・中学生短歌コンテスト表彰式	11/26(土)	22	
	ファミリー文学館	ワークショップ「積み荷はな～に」	7/23(土)～8/28(日)	390	ファミリー文学館関連事業
	〃	ワークショップ「絵馬を描こう！」	7/26(火)	0	事業中止
※	わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催	715	
※	文学館まつり	ギャラリー文学館、文学館演芸場、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(金・祝)	589	
	映画鑑賞会	「廃市」(原作：福永武彦、1984年作品)	6/19(日)	86	「福永武彦展」関連事業

教育普及事業

事業項目	事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考	
教育普及事業	映画鑑賞会	「伊豆の踊子」(原作：川端康成、1954年作品)	8/28(日)	77	
	映画鑑賞会	「喜びも悲しみも幾歳月」(原作：木下恵介、1957年作品)	11/27(日)	67	
	映画鑑賞会	「伽椰子のために」(原作：李恢成、1984年作品)	2/26(日)	81	「李恢成展」関連事業
	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	22市町村 23会場	1,489	
	文字・活字文化の 振興事業	「書くことと文学」 講師：月岡道晴(國學院大學准教授)	10/30(日)	27	
	※ 道民カレッジ 連携講座	3講座実施	6/5(日)、7/3(日)、 8/7(日)	134	
	※ 文化施設連携事業	「カルチャーナイト2011」 展示室の夜間開館等を実施	7/15(金)	309	
	※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	1,029	
	文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(309日間)	5,237	
	文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(305日間)	1,845	
	※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(309日間)	316	
教育普及事業参加者 計			16,099		

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「森田たまの交友録」関連資料調査
- ② 特別展「後藤竜二展」関連資料調査
- ③ 特別展「福永武彦展」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「絵本の原画を運ぼう！」関連資料調査
- ⑤ 特別展「林静一展」関連資料調査
- ⑥ 特別展「李恢成展」関連資料調査
- ⑦ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の常設展プレミアム関連資料調査
- ⑨ いせひでこの関連資料調査
- ⑩ 次年度ファミリー文学館の関連資料調査
- ⑪ 新美南吉の関連資料調査
- ⑫ 戦後北海道の演劇の関連資料調査
- ⑬ 高橋揆一郎の関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 財団法人北海道生涯学習協会  
「ほっかいどう学」かでの移動講座  
(平成23年6月5日、7月3日、8月7日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② 中川町教育委員会  
斎藤茂吉記念第18回中川町短歌フェスティバル  
(平成23年6月1日～10月31日 中川町)
- ③ ボランティアグループいろりばた  
第11回及び第12回「いろりばたの大人も楽しむおはなし会」  
(平成23年7月24日 北海道立文学館講堂)  
(平成24年3月25日 北海道立文学館講堂)
- ④ ふるさと怪談トークライブ事務局  
ふるさと怪談トークライブ in 北海道  
(平成23年7月7日 北海道立文学館講堂)
- ⑤ 山田唯雄ギターリサイタル実行委員会  
山田唯雄ギターリサイタル

- (平成 23 年 10 月 9 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ NPO 法人絵本・児童文学研究センター  
絵本・児童文学研究センター第 16 回文化セミナー「『こどもの宇宙』に挑む」  
(平成 23 年 11 月 20 日 小樽市民センター)
  - ⑦ 藤井眞吾ギターリサイタル実行委員会  
藤井眞吾ギターリサイタル  
(平成 23 年 10 月 30 日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑧ 荒川洋治講演会実行委員会  
荒川洋治講演「文学の言葉」  
(平成 23 年 10 月 2 日 北海道立文学館講堂)
  - ⑨ 心音ココロンスクール 運営：(株)ル・レーブ  
心音ココロンスクール講座  
(平成 23 年 10 月～12 月 心音ココロンスクールホール)
  - ⑩ 「東日本大震災」被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート実行委員会  
「東日本大震災」被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート  
(平成 24 年 1 月 21 日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑪ 円城塔文芸講演会実行委員会  
円城塔文芸講演会「わたしと小説」  
(平成 23 年 10 月 20 日 札幌パークホテル)
  - ⑫ ギター大好き恵子ママのホームページ  
赤坂孝吉ギターリサイタル  
(平成 23 年 4 月 20 日 札幌ザ・ルーテルホール)  
柴田高明ギターリサイタル  
(平成 23 年 4 月 23 日 北海道立文学館地階ロビー)  
GW コンサート後夜祭  
(平成 23 年 5 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)  
國松竜次ギターリサイタル  
(平成 23 年 6 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)

## VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR 札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 85 号（5 月 24 日付）、第 86 号（8 月 10 日付）、第 87 号（10 月 28 日付）、第 88 号（2 月 1 日付）を発行した。

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「福永武彦展」図録の刊行
- ② 特別展「李恢成展」図録の刊行
- ③ 「平成 22 年度年報」の刊行

## VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」（補遺版）の編集作業  
標記補遺版（人名編）発行のための編集作業を行った。この作業は平成 24 年度も継続して行う。また、「北海道文学大事典（人名編）」をホームページにアップした。
- ② 博物館実習生の受入  
博物館実習生—6 名（受入期間 8 月～11 月。実習期間 2 週間）